

平成22年度・第1回小平市立学校給食共同調理場運営委員会議事要録

開催日 平成22年6月14日（月）午後3時30分～午後4時45分

会 場 小平市立学校給食センター会議室

出欠席 出席者11名 欠席者 2名 事務局 5名

傍聴者 なし

次 第 議題

- 1 委嘱状伝達
- 2 教育長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 委員長・副委員長紹介 挨拶
- 5 議題
 - (1) 協議事項
 - (2) 報告事項
 - ① 平成21年度中学校給食費会計報告について
 - ② 平成22年度中学校給食実施計画について
 - ③ 調理設備の更新について
 - ④ その他

議 事 要 録

所長

皆さん、こんにちは。お忙しいなか出席をいただきありがとうございます。

第1回小平市立学校給食共同調理場運営委員会開催にあたりまして、委嘱状の伝達を行ないたいと思います。

委嘱状は教育長から伝達させていただきます。

（教育長より委嘱状伝達）

以上で、委嘱状の伝達が終了いたしました。引き続き、教育長よりご挨拶をいただきたいと思います。

教育長

皆様、こんにちは。只今、平成22年度小平市立学校給食共同調理場運営委員をお受けいただきまして、ありがとうございます。

教育長の阪本伸一と申します。どうぞよろしくお願いいいたします。本日は、雨の中、お忙しい中運営委員会のためにお集まりをいただきありがとうございます。只今、委員の皆様方に委嘱状をお渡しさせていただきました。

私は、以前、小平第十五小学校と小平第九小学校に勤務しておりまして、市内19校の小学校の栄養士や調理員の方々が、日々、安全で美味しい給食を児童のために、一生懸命作っている姿を見てまいりました。

皆様、ご存知のことと存じますが、中学校給食は、市内の8校の給食を一度に調理して、各中学校へ届ける共同調理場方式でございます。昨年、私や教育委員の皆様方も試食をさせていただきましたが、小学校のように学校内で作る自校式の給食と同様、安全、安心で美味しいと思えました。栄養士や調理員をはじめ中学校給食に携わっている方々のご尽力のたまものと思っております。

中学校給食を昭和57年5月から開始して以来、この共同調理場運営委員会におきまして、委員の皆様から頂く貴重なご意見の積み重ねによって、今日の学校給食センターが健全に運営されているものと確信いたしております。

教育委員会といたしましても、安心・安全で児童・生徒に喜ばれる給食の、維持向上を図るための努力をしてまいりたいと考えております。また、食育につきましても、現在、市内の19小学校と8中学校それぞれが食育に関する全体計画を策定し、食育リーダーを選任して食育を推進しているところでございます。

皆様には、運営委員として貴重なご意見、ご議論をいただきますよう、お願い申しあげまして簡単でございますが、ご挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いいいたします。

所長

教育長、ご挨拶ありがとうございます。

本日、第一回目の運営委員会でございますので、皆様から自己紹介をお願いしたいと存じます。

(自 己 紹 介)

所長

自己紹介ありがとうございます。

続きまして、学校給食共同調理場運営委員会の委員長と副委員長を紹介させていただきます。例年、中学校校長会会長に委員長をお願いいたしております。小平第一中学校校長先生に当委員会の委員長に、副委員長を小平第六中学校校長先生をお願いいたしたいと思っております。皆様、よろしくお願いをいたします。

ご異議がないようですから、決定とさせていただきます。

(全員了承)

それでは、委員長からご挨拶をいただきたいと思います。委員長、よろしくお願ひいたします。

委員長

皆様、こんにちは。昨年に引き続き委員長を務めさせていただきます。昨年は、共同調理場運営委員会と献立作成委員会の両方に出させていただきますして、大変勉強になりました。今まで食べるということにあまり興味がなかったのですが、十分に關心を持って取り組まなければいけないことですが、二つの委員会に出させていただきますして、特に、食ということの奥の深さをつくづく感じました。安全、衛生、栄養、さらに教育面での食育が絡んでまいりますと、大変深いものがあると思いますので、今年、一年勉強していきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

所長

委員長、ご挨拶ありがとうございました。

ここで、委員の皆様にお知らせがございます。皆様のご発言を録音させていただいております。録音した内容を議事要録にし、皆様に校正していただいた後、小平市のホームページ等に掲載し、公開いたしますのでご承知いただきたいと思ひます。

議事に入ります前に、学校給食共同調理場運営委員会の役割等につきまして、パワーポイントを使いまして、栄養士から説明をさせていただきます。

(パワーポイント)

所長

それでは、委員会の進行を委員長にお願いしたいと思ひます。

委員長

議事を進めてまいりたいと思ひます。

第1の協議事項はありますか

所長 本日は、特にございませぬ。

委員長

協議事項は無いということなので、報告事項にいきたいと思ひます。「平成21年度中学校給食費会計報告」をお願いしませぬ。

所長

お手元の資料1に添いまして説明をさせていただきます。

まず、給食費の監査でございますが、6月4日に中学校校長会会長、それから、中学校保護者代表2名の監査委員に、収支決算書に基づきまして、諸帳簿、

証拠書類等監査していただき、ご承認をいただいたものがお手元の資料1の決算書でございます。

平成21年度中学校給食費会計1年間分の給食費の決算でございます。

収入の部、給食費でございます。給食費は、1食280円で、生徒・教職員、試食会等の給食費でございます。年間の総額が222,987,270円でございます。2番目の諸収入でございますが、預金の利息が126円でございます。次に、保存食代でございますが、0-157の関係で調理前の食材料と調理後の給食を-20℃で2週間保存するよう義務づけられております。この保存食代として212,280円を小平市からいただいております。諸収入の合計が212,926円になります。つづきまして、前年度繰越金でございます。これは、20年度からの繰越金で284,410円を21年度当初予算に入れたものでございます。4番目の過年度分給食費の収入が、623,958円でございます。平成16年度から平成20年度までの過年度分給食費で、これは、平成21年度に学校給食センターで催告等をしたことにより収入になったものでございます。

以上、収入の合計でございますが224,108,564円でございます。

次に、右の欄の未収入額についてご説明いたします。21年度に発生した給食費の未収入額は1,758,663円でございます。未納の解消には各中学校で並々ならぬご努力をいただいておりますことも併せて報告をさせていただきます。過年度分給食費の未収入額は、4,533,690円となっておりますが、これは、平成17年度から20年度までの4年間の累積した未納の額でございます。それに21年度の未納分を足しますと、3月時点の6,292,353円の未納金となります。この未納金につきましては、学校給食センターで5年間催告等を行ない未納を減らす努力をいたします。

次に支出の部でございます。食材料費は食材料への支払にあてております。一番目に、主食、牛乳、副食と明記されております。合計額が、222,047,711円でございます。2番として給食費還付金でございます。還付金は、主に、アレルギーを持つ生徒の場合、牛乳、ヨーグルト、プリン、ゼリー等につきまして、不食分を計算いたしまして、3月に精算し還付いたしております。平成21年度につきましては、1,037,366円でございます。平成21年度の9月から11月中旬にかけては、毎日のように新型インフルエンザの感染による学年、学級閉鎖がございました。幸い11月中旬に治まりましたので、2月の給食費清算月に間に合い清算いたしましたので、この還付金には学級閉鎖等による還付はございませんでした。3番目は、ゆうちょ銀行手数料で20,800円でございます。

支出合計として223,105,877円 でございます。

以上が、平成21年度の収支決算でございます。収入支出差引額についてですが収入の合計から、支出の合計を引きますと1,002,687円 となります。これにつきましては、平成22年度へ繰越いたしました。

次に、基金についてでございます。物価調整基金として、2,000,000円 ございますが、平成21年度につきましては、基金を使用することなく運営ができました。

今後の予定といたしまして、平成21年度中学校給食費会計収支決算書につきまして6月25日の教育委員会への報告後、各学校長への報告、保護者の方には7月の献立表の裏面に印刷いたしまして、ご報告させていただきます。また、学校給食センターのホームページにも掲載を予定しております。よろしくお願いたします。以上でございます。

教育長

説明を聞けば分かりますが、保護者の方に配布するとき何か説明を加えますか。

所長

特に、説明は考えておりませんが、検討してみたいと思います。

委員

過年度分給食費は過去5年間に区切って入ったお金でしょうか。

所長

平成16年度から20年度の5年間の未納分を、督促等して収入した金額です。平成16年度が35,630円、17年度89,280円、18年度5,000円、19年度83,640円、20年度410,408円で合計が623,958円になります。

委員

ご家庭の事情なら、就学援助を申し込むと良いのではないですか。

所長

就学援助をお申込みいただき、認定されれば給食費が市から援助されますので未納という問題はなくなります。

委員長

他に、ご質問はございませんか。無いようですので、次の報告事項、平成22年度中学校給食実施計画の説明をお願いします。

所長

それでは、引き続きまして平成22年度中学校給食実施計画につきましてご説明いたします。この計画は、平成21年度第3回共同調理場運営委員会でご審議をいただき決定されたものでございます。

実施計画につきましては、毎年中学校8校から年間給食予定表を提出してい

いただきます。それに基づきまして学校給食センターで年間給食回数を決定いたします。今年度につきましても、中学校8校から提出いただきまして、年間給食予定表に基づきまして計画を作成させていただきました。

1の実施期間でございます。平成22年4月8日（木）から平成23年3月24日（木）までを予定してございます。

次に、3番目の年間標準給食回数でございますが、1年生につきましては、年間178回以上、2年生につきましては、年間175回以上、3年生につきましては、170回以上食べていただくという基準回数です。次の4番目の表を見ていただきますと、各学校の学年毎に、予定の給食回数、年間の給食費の予定が載っておりますのでこちらを参考にさせていただきたいと思っております。なお、学校の行事等で多少の回数等変動がある場合もございます。

5番目の給食費でございます。給食費につきましては、平成22年度につきましても、一食280円で前年同様でございます。280円の中身でございますが、この施設の維持管理経費や人件費及び光熱水費は含まれておりません。食材費に掛かる1食単価でございます。

現在、保護者の方から、振り込んでいただいております各月の給食費でございますが、一律5,200円を納めていただいております。引落とし回数は、9回でございます。1回目は、4月、5月を一括で徴収させていただいております。2月に給食の実数をとらえ清算をいたしております。21年度は、新型コロナウイルスによる学級閉鎖等があり、ほとんどの学年で5,200円以下の金額で清算しております。

納入方法につきましては、ゆうちょ銀行の「学校納付金自動振替システム」が引落とし手数料等安価なため利用しております。ただ、皆様の給食費を自動振替する際、手数料10円が掛かっていることはご承知いただきたいと思います。

6番目の給食費会計は、毎年度、決算を行い監査委員の監査を受け、保護者の方々へ毎月配布する献立表の裏面に決算書を印刷し、お知らせするとともに適正な執行に努めます。

7番目の献立作成でございます。献立作成につきましては、学校給食センターの栄養士2名が献立を立てております。

中学校の場合は、小平市献立作成委員会を各学期に1回開催いたしまして、栄養士が作成いたしました給食献立案を委員会で審議、ご意見をいただき、最終的に決定する形を取らせていただいております。

学校給食センターの特徴でございますが、コロッケ等は原材料から作る手作りを基本にしております。冷凍品、半加工品は使用いたしておりません。安全には十分注意いたしております。

野菜につきましては、平成8年にO-157が起きましてからは、衛生管理

が厳しくなり、現在は、生野菜は提供いたしておりません。調理をする際中心温度を測りますが、加熱は75℃で1分間とされておりますが、学校給食センターではノロウイルス菌が死滅する温度、85℃で1分間としております。野菜につきましては、小平産地場野菜の導入を推進いたします。導入率は金額ベースで、平成21度は16%を超えました。

次に、姉妹都市北海道小平町の米「ななつぼし」を年間を通して導入していく予定です。お米は無洗米に精米して、小平市内20店のお米屋さんの組合である小平市米穀小売商組合を通して購入いたします。

次に、8番目の衛生管理でございますが、こちらで従事する職員と調理場で働く調理員すべて、月2回の細菌検査を行いまして、衛生管理を徹底させていただいております。9番目の食育でございますが、学校給食センターでは食育推進に向け学校との連携を図りたいと思っております。学校給食センターのホームページでも給食に関する情報を発信したいと考えております。

食育推進に向けて各学校から要望があれば、学校給食センターの栄養士が学校に出向いて、授業等に参画させていただければと考えております。昨年の例で申しますと、小平第四中学校で全校生徒を対象に給食の話をさせていただきました。また、一年生は職場訪問、二年生は職場体験を行っておりますが、昨年、小平第三中学校と小平第四中学校の二年生が、実際に調理場に入り職場体験をしていただきました。今年度も数校からご要望がありますが、是非、職場体験にいらしていただければと思っております。

以上でございます。

委員長

説明のありました平成21年度中学校給食費会計報告と平成22年度中学校給食実施計画について、ご質問等、ございましたらお受けしたいと思います。

昨年の共同調理場運営委員会では、残菜のことが問題になりましたがいかがでしょうか。

所長

残菜の件につきましては、次回、11月の共同調理場運営委員会で取り上げてもよろしいかと思っております。今年の3月まで、小平市内の金子牧場に牛や豚の飼料として残菜を引取って処理をしていただいております。3月末で金子牧場が廃業しましたので、今年の4月から、残菜を堆肥化業者に有料で処理を委託しております。下処理から出る野菜くずと食べ残しを毎日、計量していますので、1学期の残菜量を集計した資料を基に、食べ残しを減らすためのお知恵を委員の皆様にお借りしたいと思っております。

委員

昨年、小平第四中学校で給食の話をさせていただいてから、学校に行ってみる

と「残さず食べよう」「みんな一口ずつ」等のポスターが貼ってあり、給食の話
を聞いたことで生徒の意識が高まったことは喜ばしいと思います

委員

給食費はゆうちょ銀行から引き落としされていますが、教材費を払わない人
もいるのでしょうか。

委員長

給食費と教材費はゆうちょ銀行の口座振替で納入していただいています。引
き落としができず未納になるケースもあります。給食費は学校給食センターで
5年間請求し続けますが、教材費を5年間請求し続けることは教員の異動等で
現実には不可能です。

所長

学校給食センターでは内規を定め5年間請求をしています。少しでも未納が
減るよう努力しています。

委員

大半の方が払っていて、一部の人が5年経てば払わなくていいとか、経済的
な問題などで給食費に廻らない等家庭の事情もあると思います。

所長

未納を回収する難しさは、生徒には何の責任はありませんので保護者の方に
督促状や電話等で納入をお願いしますが、音信不通の状況が多いです。

委員長

払わなければ食べられないという一般的な社会常識があると思いますが、学
校現場では、生徒と一緒に同じ給食を食べることも教育の一環ですので、食べ
させないわけにはいきません。

委員

そのような家庭ですと、夏休みに痩せると聞いたことがあります。せめて1
日1食、給食だけでもしっかり食べて欲しいと思います。

委員長

栄養を考えた食事は給食しかないと思います。家ではファーストフードを利用
しているようです。

委員

5年経てば良いのか、5年経過すると市が負担しているのでしょうか。

所長

5年経過したものは不能欠損として処理しています。市では負担していません。

委員

他市ではお弁当給食でカード式のところもあります。給食費を前払いで振り込
んでいないと給食を食べられません。先程からの未納の話聞いていて、お弁

当併用でカード式の意味がわかりました。

給食費もそうですが、教材費についても回収方法について良い方法が見つければと思います。

所長

最近、給食を開始したところは、お弁当併用でプリペイドカード方式が多いです。前払いの形を取りますので未納は発生しないようです。しかし、クラス全員が給食を食べてはいないと思います。

委員

確かに、美味しそうな献立の日は給食を頼んで、それ以外の日はお弁当を持っていきます。

所長

ご家庭で作ったお弁当と給食を併用していると思います。小平市のように完全給食でクラス全員が同じ給食をたべているのとは違うと思っています。

委員

どこの学校が未納が多いですか。

所長

ほぼ、均等にあります。

教育長

先日の小平市議会では、未納の問題は出ませんでした。残菜の問題は出ました。これはエコという観点からでした。せっかく作った給食を残さず食べればよいのですが、残ったものをどう処理し資源として活用するかだと思います。また、未納分を誰が負担しているか、まわりの保護者の負担にもなります。なおかつ、280円というのは食材料だけです。その他の人件費とか光熱水費は入っていません。皆さん給食は280円で食べられると思っている方が多いと思います。給食は食材費のみでは作れないということを明らかにしていかないと、安全で美味しい給食が維持向上できないという段階に来ていると思います。中学校の給食だけではなくて小学校の給食もこれからどうするのか、限られた内容と限られた時間しかないと思いますが、そういう時代になってきていることでは大きな存在です。いろいろな意見をいただければと思っています。

委員長

その他、ご質問等ございますか。ないようですから次の調理設備の更新について説明をお願いします。

所長

調理設備の更新でございますが、資料をご用意しておりません。

一度に2,000人から2,500人分を調理できる、レボル釜というお釜が2基あります。学校給食センター開設以来、28年間使用してまいりました。

昨年来、機械の不具合等が生じ修繕料もかさんでまいりました。今年度に取り換える予算が認められましたので、夏休み中にレボル釜2基を取り換える予定で進めております。予算も高額でございますので、報告させていただきました。

委員長

お釜2基を夏休みに入替えをするということですが、ご質問等ございますか。ないようですから、その他、何かございますか。

所長

学校給食センターからは特にございません。

委員長

皆様、何かございますか。

委員

昨年の共同調理場運営委員会に出ておりました、箸の件はどうなったのでしょうか。

所長

お箸と調理器具のお釜を同時に予算をつけるようお願いしましたが、どちらを優先するかとなった時、今、お釜を取り換えないと給食を一時止めるような事態になることを考えると、やはり、お釜を先に取り換えるべきとなりまして、今年度箸を断念してお釜を取り換えることにいたしました。箸につきましては、今後もお出しできるよう努力していきたいと考えております。

委員

マイ箸ブームなので箸を持って行けば良いと考えていましたが、生徒が水道で簡単に洗って机の中にしまって、次の日の使うのでは不衛生と思いますので、お箸をつけていただければと思います。

献立表等にも箸を持参するよう書いてありますが、持って行かないのが現状だと思います。

所長

先日、上水中学校の1年生全クラスに給食訪問に行きました。1クラス7～8名の生徒が箸を持参していました。3年生にもなりますとどこの学校でも持参していないのが現状です。

箸をつけることに関しましては、今後も、つけられるよう努力したいと思います。

副委員長

箸はあった方が良く、小平に来てそう思いました。

委員

残菜についてですが、学校給食センターではこれ以上やることはないと思っています。各学校の努力、担任の先生は給食のことだけを考えるわけにはいか

ないと思いますが給食の指導もお願いしたいところだと思います。また、給食時間が30分では短いという意見もあります。食育推進計画も始まったこともあり、その浸透を待つしかないのかとは思っています。

所長

学校給食センターでは、給食訪問等の機会があるたび残菜を減らすよう、一口でも多く食べてというお話はさせていただいています。

委員長

食べ残しは深い問題だと思いますので、今年度のテーマにもなってくるのかと思います。機会があるごとに知恵を出し合って改善策を見つけられればと思います。

では、最後に、学務課長お願いします。

学務課長

本日は、残菜や給食費のこと等、貴重なご意見をいただきました。より良い給食を提供していくために、今後とも皆様のご意見、お力添えをよろしくお願いいたします。

本日は、ありがとうございました。

委員長

平成22年度、第1回小平市立学校給食共同調理場運営委員会を終了いたします。ご協力ありがとうございました。